

LACELLE

ランドリーパネル収納【ラクエル】 取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業 グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業 グループ	北海道・東北営業チーム 関東甲信越営業チーム 中部営業チーム	TEL (087) 825-3632 TEL (087) 806-3660 TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3695 FAX (087) 825-3645 FAX (087) 825-3646
西日本営業 グループ	近畿営業チーム 中四国営業チーム 九州営業チーム	TEL (087) 825-3623 TEL (087) 825-3624 TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3647 FAX (087) 825-3648 FAX (087) 825-3649
特需営業 グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。

間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。

(※2) 物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意

**● 製品の上には乗らない。**

棚板の落下などにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。

**● ハンガーパイプにぶらさがらない。**

ハンガーパイプが破損したり、落下してけがをするおそれがあります。

**● 丁番などの可動部には手を入れない。**

丁番などの可動部や開戸と側板の間には手や指を入れないでください。指をはさんでケガをするおそれがあります。小さなお子様には充分ご注意ください。

**● 耐荷重の目安を必ず守る。**

棚板やハンガーに過度の重量物を置いたりすると、たわみ、変形が起り、場合によっては落下してケガをするおそれがあります。(裏面、「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い

**● 製品に水をかけない。**

本製品に直接水をかけないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。

**● 粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。**

表面に粘着跡がのこるおそれがあります。

**● 製品にシンナーなどの溶剤を付着させない。**

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようにご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

**● 暖房器具などを近づけない。**

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り・割れ・変色の原因になります。

ステンレス素材について (対象パーツ：網棚)

- ステンレスは鉄と比べて、強度が強く錆びにくい性質を持っていますが、表面は傷がつきやすいので取り扱いにはご注意ください。
- ステンレスは素地のまま(塗装なし)で使用しますので、清掃の際には**お手入れ**の内容を守ってご使用ください。
- 濡れた包丁や缶詰、鉄製の鍋などを長時間放置すると、サビが発生(もらいサビ)することがあります。
- 鉄やアルミなどの異種金属製品と接触させたまま長時間放置すると、サビの原因となりますのでご注意ください。

お手入れ

**● 日常のお手入れ方法** 乾いた柔らかい布で乾拭きする。**● 汚れがひどい場合**

木質

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

ステンレス

市販されているステンレス専用クリーナーなどで磨く。
※金属たわしやナイロンたわしなどは傷がつくので使わないでください。**● 換気をする。**

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行なってください。

**● 油やインクに注意する。**

水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

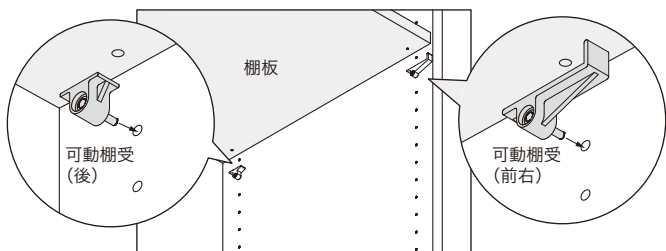
棚板／耐熱・耐汚棚／網棚（可動・固定）の移動・取り付け

棚板／耐熱・耐汚棚／網棚は、可動棚受金具にて取り付けしている箇所（可動）と、樹脂金具にて取り付けしている箇所（固定）があります。下記を参照にして移動・取り付けを行なってください。

棚板（可動）の場合

【棚板の取り外し】 可動棚受取付箇所 前後2箇所×左右

棚板を上を持ち上げて取り外した後、前後の可動棚受を取り外してください。



【棚板の取り付け】

【棚板の取り外し】の逆の手順で行なってください。

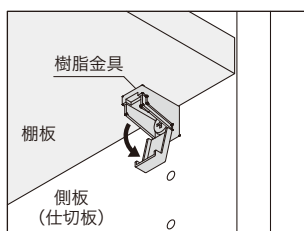
ご注意

- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
取り付けの際は可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込んでください。
- 可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

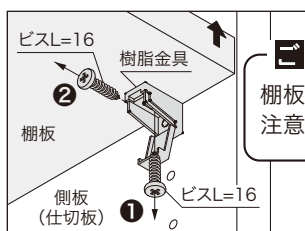
棚板（固定）の場合

【棚板の取り外し】 樹脂金具取付箇所 前後2箇所×左右

①現在取り付けしている棚板下部の樹脂金具のキャップをアケてください。



②バインドビスL=16をプラスドライバーで左に回し、棚板を取り外してください。



ご注意

棚板の落下にご注意ください。

【棚板の取り付け】

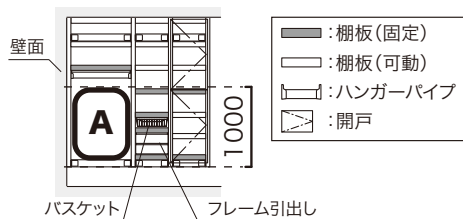
【棚板の取り外し】の逆の手順で行なってください。

ご注意

- 取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
- 樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。

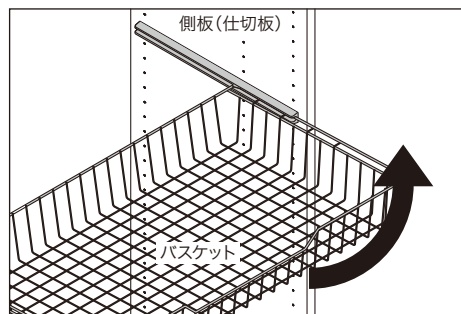
ご注意

- 1列につき棚板（固定）を1枚以上設置してください。
- 設置高は側板・仕切板下面から1000mm以内です。お守りいただけない場合、全体の寸法精度および強度が保てない可能性があります。
※下図 A のように、下部にパーツを取り付けない場合は、側板・仕切板下面から1000mm以内の位置に棚板（固定）を設置する必要はありません。
- 開戸やフレーム引出し、バスケットを取り付ける場合は、それぞれのパーツの上下に1枚ずつ必ず棚板（固定）またはフィラー天板が必要です。また、ハンガーパイプの上部には棚板（固定）を設置してください。



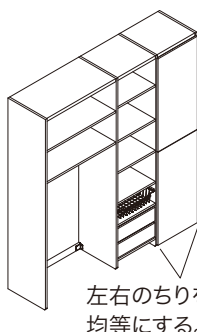
バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。



開戸の調整方法

開戸を取り付け後、開戸と本体側板のちりが均等になるように、調整を行ないます。

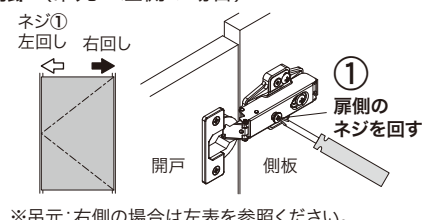


左右のちりを均等にする。

開戸の左右の位置を調節（吊元：左側の場合）

①のネジを左右に回して開戸の左右の位置を調整してください。

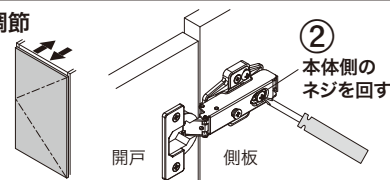
吊元	ネジ①	開戸
左側	右回し ➡	右に動く
左側	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し ➡	左に動く
右側	左回し ⇐	右に動く



※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

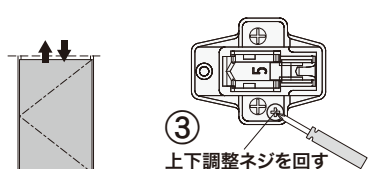
開戸とユニットの隙間を調節

②のネジをゆるめ開戸を前後に動かして調節し、適正な位置で締め直して固定してください。



開戸の上下を調節

座金にある③のネジをゆるめ開戸を上下に動かして調節し適正な位置で締め直して固定してください。



ご注意

開戸の調整後必ず2～3回開閉し、確実に取り付けられていることをご確認ください。

耐荷重の目安値

下記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。

パーツ	間口	荷重範囲
棚板（可動・固定兼用）	820mm以内	20kg以内 上吊ハンガーパイプを取り付ける場合、合計で20kg以内（注）
耐熱・耐汚棚（可動・固定兼用）	450・800mm	20kg以内
網棚（可動・固定兼用）	450・800mm	20kg以内
ハンガーパイプ	820mm以内	20kg以内
フレーム引出し	450・800mm	10kg以内 引出し1段あたり
バスケット	450・800mm	5kg以内 バスケット1段あたり

（注）棚板に載せる物の重さと上吊ハンガーパイプに吊り下げる物の重さの合計